



2023(令和5)年度「チーム武蔵ヶ丘」始動♪ 就任式・始業式・入学式・黄金週間～新鮮な自分で!

南からの温かい春風と花壇に咲く満開のチューリップに祝福され、武蔵ヶ丘中学校の新しい一年がスタートしました。本年度は、生徒数864名(1年生270名、2年生287名、3年生307名)、教職員81名で、学校目標「多様な他者を理解し、協働して反差別のくらしをつくる人間として育ち合う!」のもと、アフターコロナの新たな武蔵ヶ丘中文化の創造に向けて動き出しました。

【入学式校長式辞(一部抜粋)】

(冒頭一部省略) みなさんはこれまで、どのように生きてきましたか。笑ったり泣いたり、なかまと力を合わせて目標達成に向けて努力したりと、さまざまな経験をしながら「今」を真剣に、一生懸命生きてきましたね。その中で、いじめや差別をしませんでしたか。いじめや差別は、自分の弱さやずるさに負けた姿であり、親から受け継いだ命や家族の思いを大切にしているとはどういえない生き方です。(途中省略) 今日の入学に当たり、みなさんに一つのことばを贈ります。それは、「学ぶことは、変わること!」。私自身も、これまで幾度となく、さまざまな人との出会いによって学ばされ、変わるチャンスにいただきました。十二年生きてきたあなた方一人一人にも、あの出来事、あの人との出会いがあったからこそ今の自分があるというような出会いや学びがあったのではないのでしょうか。また、本校では、全ての人が新鮮な気持ちで新たな生活をスタートするこの時期のことを、「黄金の三日間、黄金週間」と呼んでいます。この時期に、夢・目標を掲げ、新しい自分になっていく覚悟をしてほしいと思います。流すべき過去・忘れていい過去と、踏みしめておくべき過去・忘れてはならない過去があります。誰の人生にも追い風が吹くときもあれば、逆風のときもあります。遅く、自分らしく人生を生き抜くための土台づくりが中学校の三年間で。さあ、今のその新鮮な自分を大切にしながら互いに心を寄せ合い「チーム武蔵ヶ丘」となり、夢・目標の実現に向けて互いに学び変わっていきましょう。



※「堂々とした新入生誓いのことば」



※「生徒会執行部による歓迎のことば」



※「緊張感ある凛とした姿の新入生270名」

武蔵ヶ丘中の一年は「黄金週間」で始まります♪

※部落差別をはじめ、あらゆる差別やいじめを許さない学校づくりの一年がスタート♪



本校では、誰もが新鮮な気持ちで新たな生活をするこの時期のことを黄金週間と呼んでいます。これは、人権・同和教育を全ての教育活動の根幹に据えるという意味表示であると同時に、本校に集う全ての人が差別やいじめを許さない・なくす立場でつながる「なかま」になろうという行動宣言です。

本年度も、多様性を豊かさとして捉えてつながり、自分のルーツや家族のことを誇りを持って語れるなかまづくりに取り組んでいきます。

「全校学活」で方向性と価値をそろえ!

全校生徒864名と教職員81名がくらす本校では、例年、年度初めの全校学活で集団で過ごすという決まりや約束ごと、目指す方向性(ゴール)や価値をそろえを行います。感染症が落ち着いた今年度は、全校生徒が一堂に会しての集会形式と、リモートを活用したハイブリッド形式とを駆使して全校学活を進めました。



また、全校学活の後には1年生向けに部活動紹介も行われるなど、学校が本格的に動き出しことが感じられる時間でした。